

# 村畜産農家から多くの入賞 第12回ふれあい畜産まつり

「第12回ふれあい畜産まつり」が11月2日、熊本県家畜市場(大津町)にて開催されました。

県内各地域から選ばれた牛・馬により審査が行われ、肉用種牛の各部首席における最終選考において肉用種牛第2部のあやめ号(畜主:今村勇一さん)が褐毛和種の部でグランドチャンピオンとなりました(写真右)。優秀な成績を収められました畜産農家の皆さんをご紹介します。



## ○肉用種牛の部

(1部) 名誉賞2席 さち号 阪田 健一さん	(2部) 名誉賞首席 あやめ号 今村 勇一さん
名誉賞3席 はるみつ号 今村 秀也さん	名誉賞4席 かえで号 阪田 健さん
名誉賞4席 のぞみ号 阪田 健一さん	名誉賞6席 たかみね号 中村 和草さん

## なつかしい風景「草小積み」を展示しています

11月10日「あそ望の郷くぎの」において、地元の<sup>なわす</sup>猶須牧野組合の皆さん6人が2基の草小積みを製作されました。草小積みは、ススキなど草原の野草を乾燥させた干し草を束ね、積み上げて作る草の保存庫のようなもの。昭和40年代頃まで、阿蘇の草原にざらりと並ぶその姿は秋から冬にかけての風物詩でした。しかし近年、牧草地への転換や機械化などが進み、草小積みは干し草ロールへと変化。草小積みを見かけることは少なくなりました。

阿蘇地域世界農業遺産推進協会では、草小積み技術の伝承と阿蘇独特の景観の保全、ならびに野草の利活用促進を目的として、2016年度より阿蘇郡市の牧野組合の方々にご協力いただいて草小積みを製作・展示しています。今年は南阿蘇村を含む6カ所です計24基の製作を進めています。

猶須牧野組合では、恐ヶ淵や羅漢山付近の南外輪山に広がる草原を利用されています。今回はアスペクタの野外ステージ奥に広がる野草地を利用させていただき、野草を刈って束ね、「たくさんの人に見てもらいたい」と、あそ望の郷まで運んで草小積みを作ってくださいました。

2つの草小積みは「あか牛親子像」とすぐくマッチしていますよ。ぜひ、見に来てください。

他の草小積み設置場所など詳しくは、以下の阿蘇地域世界農業遺産推進協会のホームページをご参照ください。

<https://www.giahs-aso.jp/>

〈問い合わせ〉

阿蘇地域世界農業遺産推進協会 草小積み再生プロジェクト事務局  
阿蘇グリーンストック TEL0967 (32) 3500



## 山火事にご用心！

山火事は、例年春先のほか秋から冬にかけて発生しています。

空気が乾燥し、山林内の落葉などが燃えやすい状態になっており、強風などによりたき火が燃え移り、山火事発生の危険性が高くなります。

山火事が一旦発生すると消火は容易ではなく、また、長い年月をかけて育てた貴重な森林を一瞬にして失うこととなります。

このようなことにならないよう、次のことにご留意ください。

- ①枯草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ②強風時および乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ③火入れを行う際、農政課(TEL(67) 2706)の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。
- ④たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すこと。